キューブシステム、間接費管理基盤として SAP Concur を採用 ~経費精算・支払業務の効率化と ESG 経営の推進を実現~

出張・経費管理クラウドのリーダーである株式会社コンカー(本社:東京都千代田区、代表取締役 社長:橋本 祥生、以下 コンカー)は、株式会社キューブシステム(本社:東京都品川区、代表取締役 社長執行役員:中西 雅洋、以下 キューブシステム)の間接費管理基盤として SAP Concur が導入され たことを発表します。

キューブシステムでは、これまで経費精算および支払依頼業務において、ワークフローシステムを活用し、申請・承認作業や証憑管理の電子化を実践してきました。今般、さらなる業務プロセスの改善を進める中で、コンカーが提唱する「Fit to Standard」の考え方に共感・賛同いただき、業務プロセスの刷新を一層加速させるべく、間接費管理の基盤として SAP Concur を採用されました。これにより、キューブシステムは「ペーパーレス」をはじめとする5つの"レス"の推進およびデジタル技術を活用したガバナンス強化を図っていきます。

SAP Concur の導入により、間接費領域における業務基盤が統一され、全社での経費関連業務の標準化、業務品質の向上とガバナンスの強化が実現します。また、SAP Concur の利用により、経費データが可視化、蓄積されることで、経費予実管理の高度化、GHG 排出量(※交通費と旅費における CO2 排出量)の可視化が実現し、間接費業務の効率化のみならず、経費利用の適正化、ESG 経営の推進にも寄与します。2025 年 4 月より、従業員約 800 名で利用を開始しており、年間約 4,400 時間の業務削減効果を見込んでいます。



SAP Concur の主な導入効果

業務効率化・生産性向上



キャッシュレスデータの連携が可能となり、 押印・目検チェックといったアナログプロ セス削減

デジタル上で申請から承認まで完結 場所や時間に囚われない運用が実現

業務・システムの標準化



今までの業務プロセスが全社で標準化され、 経費申請者、承認者両方の工数削減を実現



ESG経営の推進

交通費と旅費におけるCO2排出量である、 GHG排出量を算出、可視化し環境に配慮し た移動手段の選定、選択が可能に



ガバナンス強化

規定自動チェックによる不備防止 間接費業務にかかるデータを一元化し 不正の知止力に

<主な導入製品>

- ・経費精算・管理クラウド「Concur Expense」
- ・出張管理クラウド「Concur Travel」
- ・請求書管理クラウド「Concur Invoice」
- ・旅程管理サービス「Trip Link/TripIt」

他

■株式会社コンカーについて

世界最大の出張・経費管理クラウド SAP Concur の日本法人で、2010 年 10 月に設立されました。 『Concur Expense (経費精算・経費管理)』・『Concur Travel (出張管理)』・『Concur Invoice (請求書管理)』を中心に企業の間接費管理の高度化と従業員の働き方改革を支援するクラウドサービス群を提供しています。

コンカーの詳細については www.concur.co.jp をご覧ください。

■SAP Concur について

SAP Concur は、出張、経費、請求書管理を統合したソリューションを提供する世界有数のブランドであり、これらのプロセスの簡素化と自動化を追求しています。高い評価を得ている SAP Concur のモバイルアプリは、社員の出張をサポートし、経費を自動で入力し、請求書の承認を自動化します。AIを使いリアルタイムのデータを統合、分析することで、効率的な支出管理を行うことが可能です。 SAP Concur のソリューションは、手間の掛かる作業をなくし、お客様の業務効率化に貢献、最高の状態でビジネスを進めることができるようサポートします。詳細は concur.com または SAP Concur ブログをご覧ください。

SAP、SAP ロゴ、記載されているすべての SAP 製品およびサービス名はドイツにある SAP SE やその他世界各国における登録商標または商標です。またその他記載された会社名およびロゴ、製品名などは該当する各社の登録商標または商標です。

© 2025 SAP SE または SAP 関連会社。無断複写・転載を禁じます。この資料に関する使用条件、免責条項、開示、または制限については、www.sap.com/legal-notice の法的通知を参照してください。